

親子が元気になる家庭教育支援

清須市家庭教育支援チーム「チーム MOMO」

《チーム MOMO の紹介》

平成 20 年度に、文部科学省からモデル事業の委託を受け、桃栄小学校を拠点とした家庭教育支援チーム「チーム MOMO」を結成する。メンバーは、愛知県子育てネットワークであり、保育サポーター・スポーツ推進委員・母子保健推進員等で活動が続ける。

〈ねらい〉

子育てや家庭教育の相談に応じる。親子での様々な取り組みや、研修会など学習の機会を提供することで、親子の学びや育ちを支援する。

〈あゆみ〉

平成 20 年・21 年度 文部科学省委託事業
 平成 22 年・23 年度 愛知県教育委員会生涯学習課委託事業
 平成 24 年度 全国家庭教育支援研修会（文科省）参加 活動内容発表
 平成 25 年度 「公民館を中心とした社会教育活性化支援プログラム」事業
 文部科学省委託事業 “清須フェスタ” 実施
 平成 26 年～ 清須市生涯学習課委託事業 “親子が元気になる家庭教育支援”

〈令和 6 年度活動内容〉

行事	ねらいと内容	地区
MOMO の部屋 (桃栄小学校相談室)	保護者の相談に応じる。休み時間に、伝承あそび等を通して児童と交流をする。	桃栄小学校
小学校 PTA 総会時の支援	保護者の方に PTA 総会及び学年(学級)懇談会をする間、児童を預かる。	桃栄小学校 新川小学校
ふれあいサロン	懇談会(7月・12月)の期間中、保護者が懇談をする間児童を預かる。保護者の方の相談と交流を図る。	桃栄小学校
読み聞かせ	読み聞かせを通して児童と交流する。	桃栄小学校
入学説明会	新1年生の保護者に、家庭における心得について、お話しをする。	桃栄小学校 新川小学校
「親の学び」家庭教育研修会	参加者同士が意見交換等する中で、自分の子育てを振り返り、親としてのあり方や子どもとの接し方等について考える。	桃栄小学校 星の宮小学校 新川中学校
中学生と赤ちゃんのふれあい交流会	「いのちの大切さ」について、赤ちゃんやその保護者とふれあい交流する中で、体験を通して学ぶ機会を提供する。	新川中学校
親子でわくわくワーク	「親子のよりよいかかわり方について」学びの場とする。	清須市全地区
地域の子育て・孫育て応援講座	祖父母世代だからこそできる子育て支援について、子育て中の親との、よりよい関わり方を考える研修会を行う。	清須市全地区

※桃栄小学校の行事に参加協力

※新川中学校の挨拶運動に参加

清須市生涯学習課委託事業『清須市家庭教育支援チーム「チーム MOMO」』報告

【報告 1】

1 行事名 「親の学び」家庭教育研修会

子どもと共にすこやかな成長を考える

2 行事のねらい

- ・子どもは、もともと豊かな感性、高い吸収力を持って生まれてきているため、それぞれが持っている可能性を引き出し、伸ばすことを考える。
- ・グループで意見交換する事で、広い視野に立ち自分なりの気づきを得る学習の機会とする。

3 行事の概要

- (1) 場所・日時 西枇杷島幼稚園遊戯室 12月5日(木) 10時30分～11時20分
- (2) 参加者 西枇杷島幼稚園保護者(22名)
- (3) 講師 清須市家庭教育支援チーム「チーム MOMO」
- (4) 内容 子どもと共にすこやかな成長を考えるワークショップ

4 参加者の声(振り返りシートより一部)

ワークショップはどうでしたか？

- ・他のママさんやパパさんの意見を聞くことができて良かった。共感したりなるほどと思うことなどあった。
- ・子育てについて、いろんな考えや意見が聞けて良かった。参考にしたいものもいくつかあったので覚えておきたい。
- ・他の方の話や大切にしていることが聞けて有意義だった。
- ・他のお母さんやお父さんが普段どんなことを考えたり、気をつけたりしているのかが聞けて良かったと思います。改めて子育てについて考えられていい機会でした。
- ・普段お話をしたことがなかった方たちと話し、意見交換ができてとても気づきがある時間でした。
- ・とても奥が深いと思いました、育児には正解がないので、その子その子に向き合って、親も一緒に成長していくんだなと感じました。

何か感じたこと、気づいたことをお書きください

- ・子どもに「思いやりの心」や「大好き」と言葉で伝えてあげることが、大切なことを改めて思ったので、実践していきたいと思います。
- ・自分と似たような悩みを持つ方が、何人かみえたこともはげみになりました。
- ・一番印象に残ったのは、「本物に触れる」という言葉です。子どもにいろいろな体験、経験をさせること、本物の芸術や自然に触れることなど…これから参考にしていきたいと思います。
- ・他の家庭での心掛けなど、参考にしたいと思えることがたくさんあった。
改めて子どもにありがとう、大好きを伝えたい。

5 成果

話し合いの中で、お互いの困りごとを共有したり親として子どもへの思いに共感したりとする様子が見受けられ、どのグループも盛り上がっていたと感じ、参加された方同士の距離が近くなったように思いました。振り返りシートに、自分の子育てを振り返るきっかけになったことや、他の方の考えや意見が参考になったこと等が多く記されていたことから、今回の研修で得られた「気づき」や「繋がり」を得る機会となったことが伝わりました。

【報告2】

1行事名 中学生と赤ちゃんのふれあい交流会

2行事のねらい

中学生が、お母さん方や保健師さんからお話を聞き、また赤ちゃんのぬくもりや重みを直接肌で感じとることで、自らを振り返り「いのちの大切さ」を学びとる機会とする。

3行事の概要

- (1) 場所・日時 新川ふれあい防災センター 和室 11月9日(土) 10時～11時30分
- (2) 参加者 清須市立新川中学校3年生7名
親子3組(乳幼児2ヶ月～11ヶ月) 父1名母3名
- (3) 講師 清須市保健師 渡部裕美子氏
清須市家庭教育支援チーム「チーム MOMO」
- (4) 内容 保健師さんのおはなし・お母さんへインタビュー・中学生とお母さんお父さんの交流
中学生と赤ちゃんの交流

4お母さんの振り返りシートより(一部)

交流会についての感想

- ・私が一人っ子で兄弟などいなかったなので、中学生の頃に赤ちゃんとおふれあえるのはいいなと思いました。名前の由来もきけてすてきだなと思いました。
- ・今日の交流で日頃聞けない中学生との話ができてよかったです。自分も初めて子どもができた時の感情が思い出せれていい交流会でした。

中学生の振り返りシートより(一部)

参加の動機

- ・このような機会はあまりないため、貴重な経験になると思ったから。
- ・赤ちゃんに関わるというあまりない機会に興味があったから。



「交流会」について、思ったこと

- ・赤ちゃんの手や足、鼻などの大きさを自分と比べて全然違うんだということから、私にも小さいことがあったんだと感動した。
- ・こんなに小さくてかわいいのだと思った。もちもちで、小さくて、目がはなせないなと思った。お母さんお父さんの経験や気持ちも知ることができたので良かった。

「いのち」について、今感じていることは何ですか？

- ・1400兆分の1の確率で生まれてきたって思うとすごいなと感じた。
- ・親が大変な気持ちで産んだ大切な命ということが分かったので、全人類が大切にしていっての方がよいと思った。そのためにも他の人にも優しくしていこうと思った。

5成果

生徒さんたちは、事前打ち合わせの時から意気込みを感じました。保健師さんのお話や、お母さんやお父さんへのインタビュー、聴診器を使って赤ちゃんの心音を聴いた体験などから、「いのちの大切さ」を実感する機会となったように感じられました。また、「将来、なりたい職業とかあるの?」というお母さんの問いかけに、将来の夢を語ってくれた生徒さんたちの姿も印象的でした。生徒さんの振り返りシートからも「いのち大切さ」を学ぶ機会になったことが伺えました。

【報告3】

1行事名 親子でわくわくワーク

2行事のねらい

- ・親子のかかわり方について、たちどまり振り返ってみる。
- ・気持ちを素直に言葉にして伝えてきたか、グループで話し合い考えてみる。

3行事の概要

- (1) 場所・日時 清洲市民センター 集会室201及び和室 7月6日(土) 10時00分～11時30分
- (2) 参加者 親子7組(父4 母7 小学生1～6年生13 未就学児3)
- (3) 講師 清須市家庭教育支援チーム「チーム MOMO」
- (4) 内容 親子のよりよいかかわり方について考えよう

4参加者の声(振り返りシートより一部)

感想(親)

- ・改めて自分の発言を振り返るとハットする事がありました。でも自分の子育てで絶対に言わないと決めている言葉があります。それが今日参加してあった！と確信できました。親子で経験出来て良かったです。
- ・子どもに対して、嫌な気持ちになる言葉を無意識のうちにかけていたかもしれないと思った。
感情的にはならず言葉を選んで発言していきたい。
- ・ふだん、どんな言葉をかけているかかけてもらっているかを、思い返す良い機会になりました。毎日の生活をくり返すことで、いっぱいいっぱいな毎日なのですが、またこのような機会に参加したいと思います。
- ・親子だからと傷つく言葉をかけていたことを反省しました。言葉の大切さを学ばせていただきました。

感想(子ども)

- ・言われてうれしいことや、いやなことがいろいろあったけど、もっとうれしくなる言葉を言ってほしい。
- ・うれしい言葉やきずついた言葉を考えるのがむずかしかったです。でも思い出したらなんとなく分かってきて楽しくなりました。次もと組みたいです。
- ・今日べんきょうして、いろいろ考えが必要だと思いました。
- ・もっとうれしいことばがききたかった。
- ・ストレスはっさんできた(いわれたくないことかいて)

5まとめ

親子での「親のいいところ子どものいいところ」の自己紹介から始めましたが、意外にも子どもは恥ずかしく言いにくいのだと感じました。

親と子が別々の部屋で、それぞれが「言われて嬉しかった言葉」「言われて嫌だった(悲しかった)言葉」を書いてもらった。言葉からは、親も子も思い思いの気持ちを素直に書かれていたと感じました。その後、親子一緒に書かれた言葉をみて、お互いの気持ちを知ることとなり、無意識のうちに使っていた言葉を、この機会に振り返ることができたと多く書かれており、特に親は、「言葉掛け」の大切さに気づいたようでした。

私たちは、以前より親子で同じテーマの研修会を行いたいと考えておりました。親と子の意見を聞けたことで、私たちも今後の活動に活かしていきたいと思いました。